

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米 Market View : 日本株需給)

2024/5/24
りそなホールディングス 市場企画部
担当: 武居、渋谷

◎日本株需給分析：海外投資家は4週連続の買越し

- ▶ 主体別売買動向によると、5/13~5/17にかけて海外は約400億円の買越し(4週連続)。個人は約1,200億円の売越し(4週連続)。GPIFの売買動向と連動する信託銀行は500億円の買越し(4週連続)(図表1)。GPIFによる日本株の買い余地は約0.78兆円と推計(図表2)
- ▶ 同期間のTOPIXは、米CPI公表でインフレ率鈍化が確認されたことやエヌビディア決算への期待から米ハイテク株高となったことを背景に上昇基調で推移した。企業の自社株買い増などによる株主還元強化策が評価され海外勢の買越しが続く一方で、株価上昇局面では個人の利益確定売りが優勢になったとみられる
- ▶ 自社株買い発表額は過去最高水準(図表3)。4~5月に発表された決算では、商社や外需関連企業を中心に大型の自社株買いが発表された
- ▶ 年初来海外投資家は日本株を買い越しているが、①アベノミクス初期と比べると海外勢の買越し額は少額であり、デフレ脱却期待が高まるに連れ更なる流入が見込まれること、②本決算でも積極的な株主還元姿勢が示されたことの2点から、海外投資家からの資金流入は中期的に持続すると考えている。もっとも、短期的には、保守的な会社計画が示されたことを懸念して、積極的な買越し基調には転じづらいだろう。大型優位の相場は一服か(図表4~5)
- ▶ 海外投資家の日本株買いが継続するならば、ドル円は従来の日米金利差から示唆される水準よりも円安な水準で推移する可能性がある。アセットマネージャーの円ポジション変化幅とTOPIXコア30の変化幅の相関は過去最低水準であり、日本株を買う際の円のヘッジ売りが積極化している可能性が高い(図表6~7)

図表1：主体別売買動向(主要二市場、現物)

単位 10億円	現物							TOPIX (pt)
	海外	個人	法人				TOPIX (pt)	
			投資信託	事法	生損保+銀行	信託		
2024/4/20	-592.5	908.6	49.0	55.3	-34.8	-5.3	2,626.3	
2024/4/27	215.9	-187.4	-157.0	56.2	-33.6	166.7	2,686.5	
2024/5/4	174.6	-274.1	145.9	74.2	31.3	24.8	2,728.5	
2024/5/11	263.6	-40.7	-49.9	136.9	-46.7	9.0	2,728.2	
2024/5/18	38.4	-120.5	36.5	261.7	-45.5	47.2	2,745.6	

図表2：GPIFの日本株売買余地

■ GPIFの保有国内株式割合を仮に25%にするとした場合に必要な売買額の推計

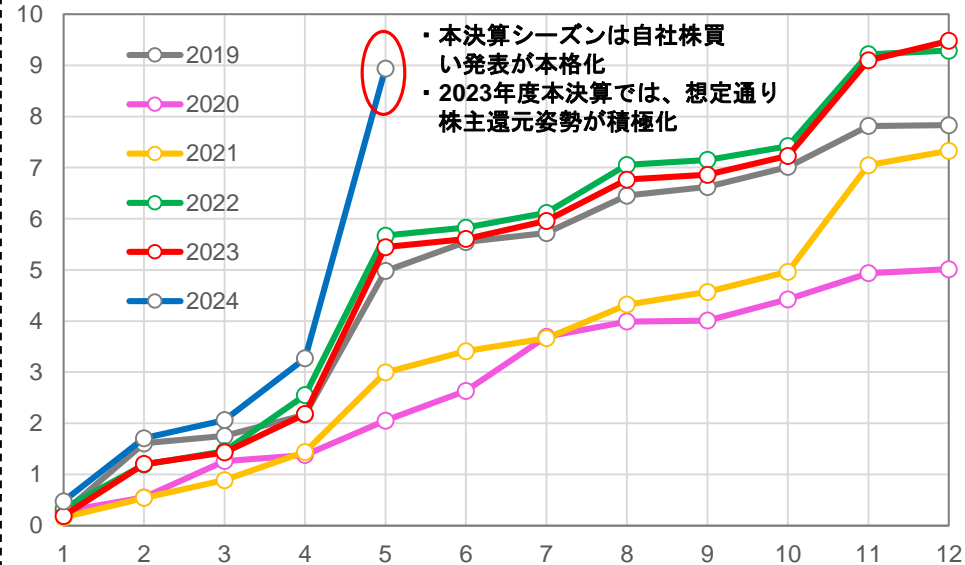
	05/24時点の推計	12/29日以降の信託銀行の 累積売買金額	差し引き
保有国内株式割合を仮に25%にする とした場合に必要な売買額の推計	-2.8兆円	-3.6兆円	0.78兆円

■ GPIFの運用状況推計

	2023/12/29時点		05/24時点の推計		基本ポートフォリオ	
	資産額 (億円)	構成比	資産額 (億円)	構成比	構成比	乖離許容幅
国内債券	583,450	25.8%	567,111	22.6%	25.0%	±7%pt
外国債券	553,277	24.4%	600,411	23.9%	25.0%	±6%pt
国内株式	558,258	24.7%	656,271	26.1%	25.0%	±8%pt
外国株式	569,157	25.1%	689,768	27.4%	25.0%	±7%pt
合計	2,264,142	100.0%	2,513,562	100.0%	25.0%	-

注：ベンチマークとしているインデックスの決算時点以降の価格変動率のみから推計

図表3：自社株買い発表額推移(月次、年別)



(出所：QUICK, Bloomberg)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

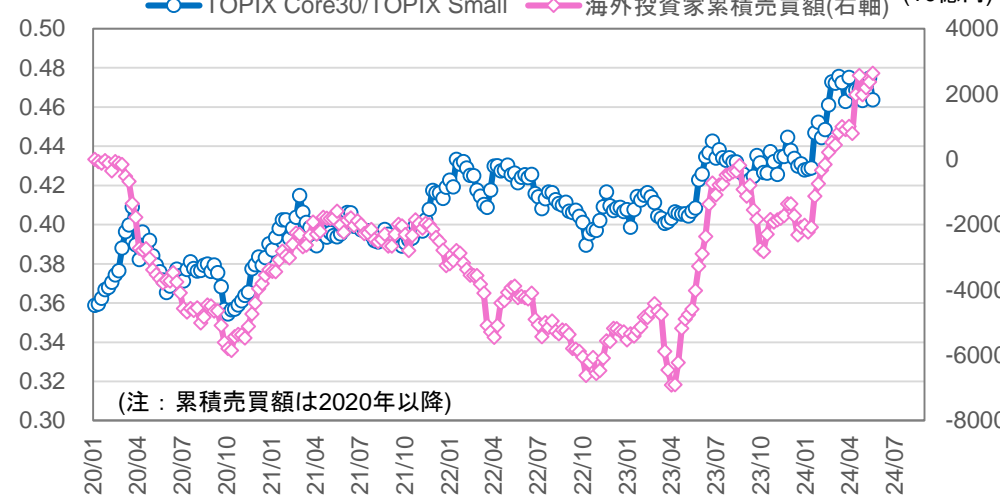


りそな 経済フラッシュ

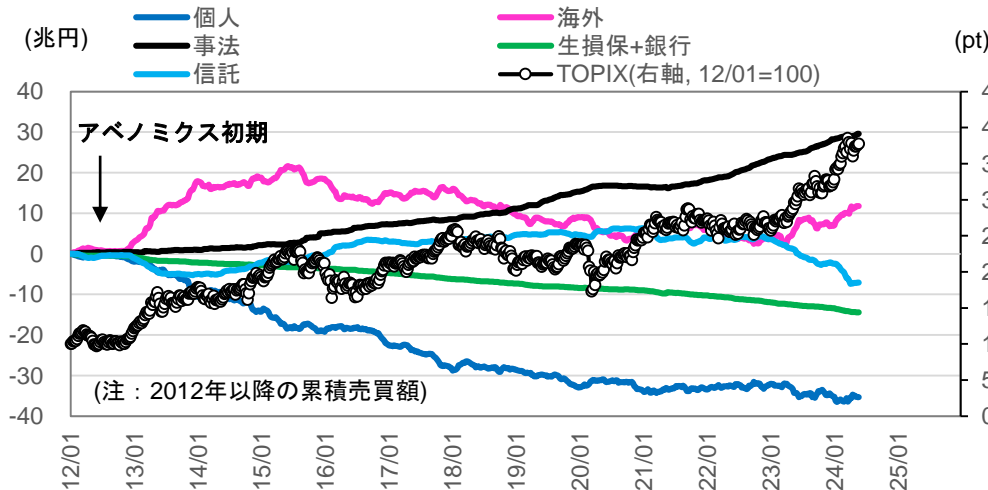
(日米 Market View : 日本株需給)

2024/5/24
りそなホールディングス 市場企画部
担当: 武居、渋谷

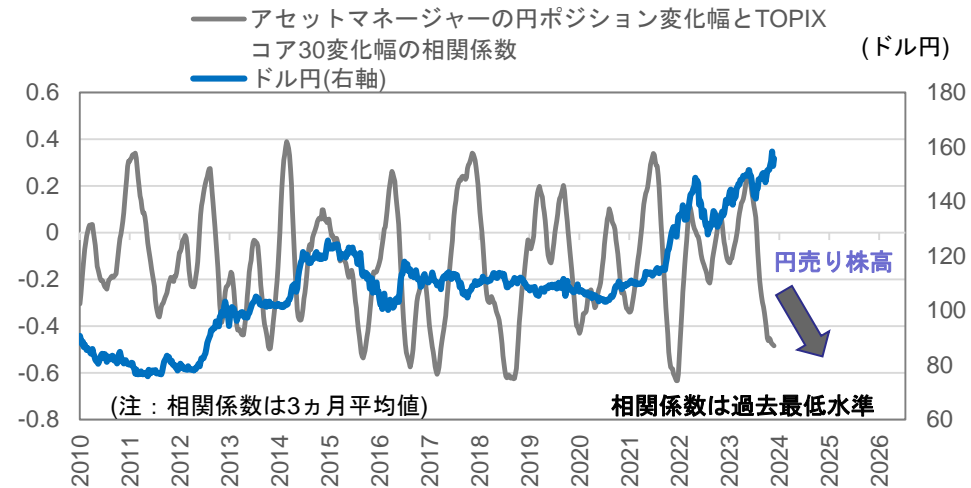
図表4 : TOPIX Core30/ TOPIX Smallと海外投資家の売買動向



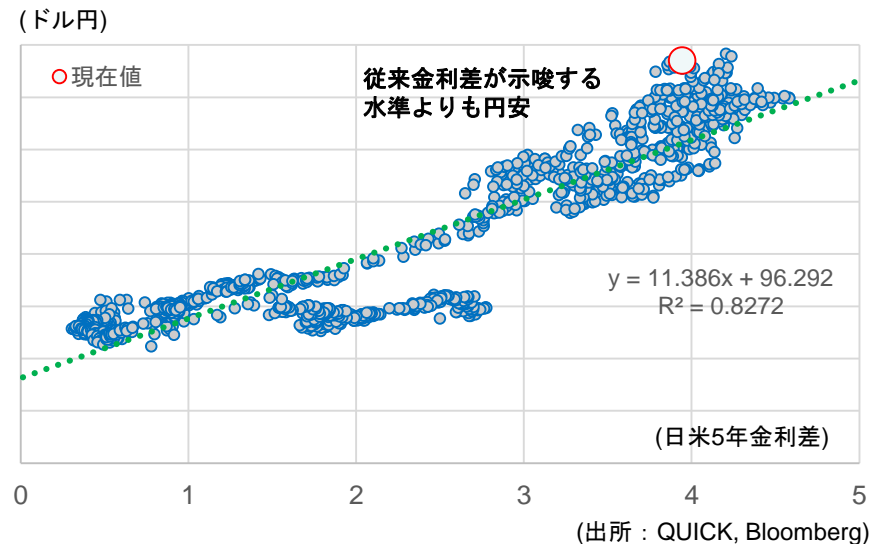
図表5 : 主体別累積売買額の推移(主要二市場, 現物)



図表6 : アセットマネージャーの円ポジション, TOPIXコア30, ドル円の関係性



図表7 : 日米5年金利差とドル円の関係(2019年1月~)



◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米 Market View : 日本株需給)

■バックナンバー

No	発行日	テーマ	タイトル
1	2024/4/2	米国経済, 米国株	日米 Market View : 3月ISM製造業景況感指数
2	2024/4/5	日本株	日米Market View : 日本株需給
3	2024/4/12	日本株	日米Market View : 日本株需給
4	2024/4/19	日本株	日米Market View : 日本株需給
5	2024/4/22	米国株	日米Market View : シリコンサイクルから見る米ハイテク株の展望
6	2024/4/23	日本株	日米Market View : 日本株バリュエーション
7	2024/4/26	日本株	日米Market View : 日本株需給
8	2024/5/2	米国経済	日米Market View : 5月FOMC
9	2024/5/7	米国経済, 米国株	日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか？
10	2024/5/13	日本株	日米Market View : 日本株需給
11	2024/5/13	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow
12	2024/5/16	日本株	日米Market View : 3月決算企業の本決算と日本株への影響
13	2024/5/17	日本株	日米Market View : 日本株需給
14	2024/5/20	日本株	日米Market View : TOPIX採用企業の株主還元
15	2024/5/21	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用～HRog賃金Now
16	2024/5/23	米国株	日米Market View : エヌビディアの決算とマーケットへの影響

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。